

はなまき市議会だより

はなのかぜ
花の風

第**54**号

平成30年7月31日



登山の際は、細心の注意を！

写真：早池峰山 小田越登山道にて

山開き前の6月6日、花巻・遠野両市の消防隊員や消防団員が遭難救助訓練を実施しました。

近年、登山による事故が増加し、毎年全国的に要救助者が発生しております。

登山の際は細心の注意を払い、ケガのない楽しい登山を心がけましょう。

6月10日、早池峰山は山開きを迎えました。

もくじ

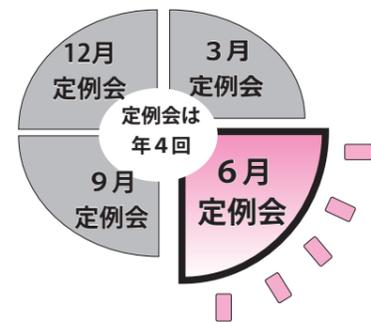
2…6月定例会(可決議案Pick Up、議案審議ほか)

5…一般質問 ～11人が登壇～

11…平成29年度政務活動費
執行状況報告

12…ちょっと一言、編集後記

6月定例会(6月1日~18日)



本定例会では――

・市長提出議案	39件
・報告	10件
・請願	1件
・議員提出議案	2件
・意見書	1件

以上が提出されました

平成30年第2回定例会(6月定例会)は6月1日~18日までの会期で行われ、上記のように議案等の提出がありました。

議案等は53件提出され、そのうち24件が花巻市農業委員会委員の任命(同意)議案でした。そのほか、4件の専決処分や名誉市民条例、財産の取得、一般会計補正予算(第1号、第2号)などの議案について、いずれも原案のとおり可決しました。下欄には、議案の中から3点をピックアップしてご紹介します。

可決議案 Pick Up

○花巻市名誉市民条例

制定

この条例の要旨…

反対討論あり

市内に居住していない方で、市勢の発展または市の名誉・名声の高揚に著しく貢献した方に対し、花巻市名誉市民の称号等を贈り、その功績を後世まで顕彰することを目的とする。

○高規格救急自動車 1台 ○消防ポンプ自動車 2台

財産取得

○高規格救急自動車 → 花巻中央消防署東和分署に配備している救急自動車は、導入後13年が経過。車両の劣化等により更新するもの。

更新車両は、救急救命士による高度な処置を車内で行える資機材を積載しており、救命率の向上、高度な救急サービスの提供を図るもの。

○消防ポンプ自動車 → 現有車両の経年劣化による性能低下から花巻市消防団第4分団(東十二丁目)、第13分団(石鳥谷/大瀬川)へそれぞれ配備(更新)するもの。

○花巻市農業委員会委員の任命

同意

要旨…農業委員24名の任命について同意を求めるもの(任命に同意された農業委員は3ページに記載)

議案審議

花巻市名誉市民条例

▼選考は…学識経験者3名、公共的団体等の役員3名の合計6名からなる花巻市名誉市民選考委員会によって審議され、市長が議会の同意を得て決定します。

花巻市農業委員会委員24名を任命

▼内容は…農業に関する識見を有し、農地等の利用最適化を推進する事項において、その職務を適切に行うことができる方が任命されました。委員定数の過半数は認定農業者とすること。農業者以外の方で農業委員会の業務に関して利害関係を有しない方を1名以上確保すること。女性や青年を積極的に登用することなどを基準として選考されました。

常任委員会を3つに改編

▼改編内容は…議会運営委員会の発議により花巻市議会委員会条例の一部改正され、委員会定数を増員させることが望ましいことから、常任委員会を現行の4常任委員会のうち、文教常任委員会と福祉常任委員会を統合し、3常任委員会に新たに改編されることとなりました。この条例は、議員改選後の平成30年8月1日施行です。

補正予算第1号、第2号を可決

▼第1号は減額
平成30年度一般会計補正予算第1号は、歳入、歳出それぞれ46億30万8000円減額の総額約475億9000万円となります。歳入減額の主な要因は、社会資本整備総合交付金の内定に伴う事業費の整理などによるものです。歳出では私立保育施設整備に対する補助金

第2号は増額

補正予算第2号は歳入歳出それぞれ205億1万8000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額約476億1131万円とするものです。歳入は繰越金で歳出は公営住宅等建設事業費の設計等業務委託料です。これは災害公営住宅建設にあたり花巻市上町商店街振興組合のアーケードの一部解体・撤去および設計委託料です。

今回任命された農業委員会委員の皆さん

【花巻地区】

○阿部 秀子さん

【上似内】

○伊藤 富壽さん

【南城】

○奥山 雅史さん

【桜台】

○川村 育子さん

【高松】

○小田島 新一さん

【金矢】

○佐々木 勝志さん

【太田】

○駿河 茂さん

【西宮野目】

○高橋 美代子さん

【横志田】

○照井 順一さん

【湯口】

○中島 忠成さん

【矢沢】

○戸来 洋子さん

【太田】

○本館 和夫さん

【轟木】

○伊藤 忠宏さん

【内川目】

○川村 優さん

【大迫】

○高橋 和子さん

【亀ヶ森】

○岡田 知穂さん

【新堀】

○小原 正好さん

【上口】

○中村 清孝さん

【関口】

○晴山 成仁さん

【黒沼】

○柳原 久夫さん

【南寺林】

○浅沼 英喜さん

【石鳩岡】

○小原 雍子さん

【谷内】

○昆 正さん

【中内】

○清水 伸さん

【百ノ沢】

自治功労者として3氏が表彰受賞

長年にわたる地方自治への功労に対し、全国市議会議長会から在職15年の議員3名が表彰を受けました。

(写真右から)

大原 健議員
本館憲一議員
近村晴男議員



編集委員は こう見た!

▼花巻市議会は、平成30年8月1日から議会改革の一環として、常任委員会条例の一部を改正することとしました。

▼内容は現行4常任委員会(総務、文教、福祉、産業建設)を、3常任委員会(総務、文教福祉、産業建設)に改編するとともに、委員の定数は6名→7名を、8名→9名にして所管事項も見直すものです。

▼議員定数の減少により、各常任委員会の委員数が少なくなっており、幅広く市民の意見をお

聞きするとともに、議論を一層深めるためには、常任委員定数を増やす必要があるとして変更するものです。

▼4つある常任委員会を3つにすることで、所管事項が増える常任委員会はもちろん、所管事項に変更がない常任委員会も、従来以上に論議を深めるための不断の調査研究が大切となります。

意見書発議

本定例会では、1件の意見書案が提出されました。本会議での審議の結果、原案のとおり可決され、花巻市議会として内閣総理大臣等に意見書を提出しました。

件名	提出者
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2分の1復元を求めることについて	文教常任委員会 委員長 伊藤源康

※意見書全文は市ホームページに掲載しております。詳しくはそちらをご覧ください。
※9月定例会への請願や陳情は、8月24日(金)午後5時までに提出ください。

平成30年第2回定例会 【審議結果】

議案番号および議案名	審議結果	明和会		市民クラブ		花巻クラブ		平和環境 市民クラブ		会派を構成していない																	
		藤原伸	高橋勤	伊藤源康	藤原晶幸	中村初彦	高橋修	瀬川義光	内館桂	大原健	鎌田幸也	松田昇	本館憲一	藤井英子	近村晴男	高橋浩	照井省三	若柳良明	阿部一男	菅原ゆかり	増子義久	藤井幸介	櫻井肇	照井明子			
62 花巻市名誉市民条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対 議長は表決に加わりません。上記以外の議案は全会一致で可決。

常任委員会活動報告

【総務常任委員会】
◆6月12日
◇所管事務調査「空き家バンクについて」

【文教常任委員会】
◆5月10日
◇所管事務調査「平成30年度花巻市教育行政の重点について」

◆6月12日
◇第3号請願審査「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求めることについて」採択(意見書発議/教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書)

【福祉常任委員会】
◆6月13日
◇所管事務調査「障がい者の就労状況について」

【産業建設常任委員会】
◆5月14日
◇所管事務調査「中山間地域農業について」

◆6月13日
◇所管事務調査「花巻市の林業について」



議員11人が登壇

消防活動困難地域の対応策は 年度内に警防計画を改正



照井省三 議員
(平和環境市民クラブ)

Q ①道路が狭隘かつ区画整理されていない住宅密集地の消防活動困難地域の把握とその指定について 何う②消防活動困難地域の住民への周知について何う③困難地域の火災予防対策と消防活動の戦術について何う。

A 【市長】①当市消防本部は大規模な火災につながる危険性の高い地域を「消防活動困難地域」として、市内71カ所を抽出し、各消防署・分署に通知している。
②本年8月ごろを目標として警防計画の一部改正に向けて作業を進めているところであり、改正後71カ所の「消防活動困難地域」の住民の皆様様に周知を図る。
③火災予防策については、住宅火災警報器の設置・点検の促進を行うとともに、まちぐるみで初期消火訓練を行い火災予防に努める。消防活動の戦術

【教育長】小学校における外国語教科と外国語活動の授業増加においては、学校行事や教育課程全般を見直し、工夫と改善に努め、多忙化解消に向けて教育課程を編成し、学校運営を進めていく。



日ごろからの訓練が大切
(花巻地区消防操法競技会)

Q 小学5、6年生の外国語教科化および3、4年生の外国語活動は教職員の多忙化要因とならないか。また、その対応策について何う。

【そのほかの質問】道路の維持補修について、県立高等学校再編に係る対応について



本館 憲一 議員
(花巻クラブ)

施設維持管理の実施計画は 年度内の策定を目指す

【市長】 現在進めている実施計画は「公共施設マネジメント計画」に基づいて、平成31年度からの5年間で第一計画として策定する。学校や市営住宅、下水道など国の指針により用途ごとに策定する個別施設計画のほか、振興センターや文化会館など、指針に示されていない用途の施設についても維持管理や施設総量を総括して管理する。今後は施設ごとに改築、改修等の計画を検討し、大規模改修施設については、劣化状況や躯体の調査を行い、専門家の助言も得ながら、年度内の策定を目指す。

【Q】 「40年先の街の未来を考える」をコンセプトに策定された「花巻市公共施設マネジメント計画」は、いかにして着実に推進し、まちづくりと市民生活の質の向上を目指すかが問われてくる。この実施計画策定の状況を伺う。

【A】 「市長」 現在進めている実施計画は「公共施設マネジメント計画」に基づいて、平成31年度からの5年間で第一計画として策定する。学校や市営住宅、下水道など国の指針により用途ごとに策定する個別施設計画のほか、振興センターや文化会館など、指針に示されていない用途の施設についても維持管理や施設総量を総括して管理する。今後は施設ごとに改築、改修等の計画を検討し、大規模改修施設については、劣化状況や躯体の調査を行い、専門家の助言も得ながら、年度内の策定を目指す。

本市の農業の将来像は 維持強化していくことが必要



伊藤 源康 議員
(明和会)

【市長】 農業・農村の振興を図るためには、担い手への農地集積・集約化を推進していく一方で、農村を維持していくためには、小規模農家や兼業農家など、農業者が担う多様な役割を維持していくことも重要と考えている。また、集落営農の組織化や法人化に対する支援、新規就農者活動支援の充実、市内女性農業者の活動支援をさらに維持強化していくことが必要と考えている。

【Q】 法人化や農地の集約化といった大規模化を推進する方針のようだが、労働力不足が重くのしかかる中で、小規模農家と組み合わせた振興策も必要と思われるが、中山間の農業の在り方を含め、本市農業の将来像をどう描くのか。

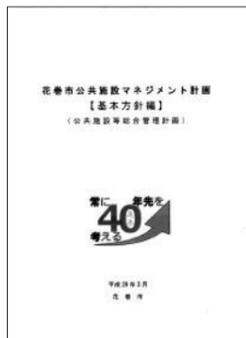


集落営農の組織化・法人化が進む
(小麦の収穫: 笹間地区)

子どもの貧困の現状は

【Q】 子どもの貧困が社会問題となっている。市内児童生徒の実態をどのように捉え、対策はどうなっているのか。

【教育長】 家庭の貧困は、子どもたちの生活や成長に様々な影響を及ぼす。子どもの将来が生まれ育った環境により左右されることがないよう、貧困の状況にある子どもたちが、健やかに成育する環境を整備し、教育の機会均等を図ることが責務であると捉えている。今年度、岩手県保健福祉部において「仮称」岩手県子どもの生活実態調査を実施する予定であり、結果により、市における貧困の実情を捉え、自分の将来に希望を持てる社会の実現を目指し、貧困の連鎖を防止する事業を検証・検討していく。



40年先を見据えた「花巻市公共施設マネジメント計画」

転作過剰への対応は

【Q】 花巻米が実需者の要望に応えられない状況として花巻農協は、主食用米の作付けを農家においている現状である。転作過剰への対応について市の考えを伺う。

【市長】 花巻米の需要は、県産オシロイ品種の認知度が徐々に向上しているほか「ひとめぼれ」については実需者から強い要望をいただいているが、価格の安定には需給調整も必要であり生産目安の範囲内でニーズに応じた生産を支援していく。転作過剰については、固定的な転作地や農家の経営判断によるもので、需要に応じるため生産目安の範囲内で、飼料用米から主食用米への作付けを誘導していく。

市政「い」が聞きたる
一般質問

【Q】 岩手県が掲げる「育児の日」を推奨するため、本市において「育児の日」を制定し、さらなる子育て支援の充実を図る考えはないか伺う。

「花巻市育児の日」制定は 県制定の「育児の日」を周知



高橋 修 議員
(市民クラブ)

【教育長】 岩手県では、家庭や家族を大切に育てる子育てを社会全体で応援する機運の醸成を目的に、11月19日を「いい育児の日」と定めている。本市としては、改めて制定するのではなく、県で取り組んでいる「育児の日」について、広報やホームページなどを通じて市民に広く周知を図り、家庭や家族を大切に育てる子育てを社会全体で応援する機運を高めていきたいと考えている。

米の生産調整廃止の影響は 作付けは289ヘクタール増加



鎌田 幸也 議員
(市民クラブ)

【市長】 市内の平成30年度主食用米の作付け面積は7062ヘクタールで前年比で289ヘクタール増加したが、生産目安の7208ヘクタールより146ヘクタール下回った。また平成29年度で4億6千万円ほどの直接支払い交付金は廃止された。市は農業再生協議会から示される生産目安をもとに、需要に応じた主食用米の生産を確保するほか、県から国に対して米の需給安定に資する新たな支援策を創設するよう要請する。また水田活用の直接支払交付金や補助事業を活用し、飼料用米や加工用米、園芸作物などの転作に対する支援を行う。

【Q】 国主導による生産調整が廃止され、個々の生産者の判断に委ねられることとなったが、今年度の主食用米の作付け面積の状況について伺う。また、直接支払い交付金も廃止となったが、その影響と対応策について伺う。

スマートICの必要性は



産業振興と市民の利便性が期待されるスマートIC
(花巻パーキングエリア)

【Q】 市が計画を進めている、花巻パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置について、その必要性・将来性について伺う。

【市長】 市道山の神諏訪線の整備による花巻・西南地域の企業や住民の利便性、市の南側に立地する企業等の製造品の輸送時間短縮や輸送コスト削減による産業振興、市公設地方卸売市場の渋滞緩和による確実な配送と入出荷量増加、北上工業団地へのアクセス向上等の利便性を図るために必要と考える。将来性については、北上工業団地への東芝メモリと関連企業進出や東北横断自動車道釜石・花巻間の全線開通による高速道路の利用増加、県立中部病院への救急搬送20分圏域拡大、岩手医科大学附属病院への救急搬送時間短縮のほか、広域観光の推進も期待される。

【そのほかの質問】 防災力強化について

中学の部活動状況は



休養とのバランスが取れた部活動が行われている
(石鳥谷中学校野球部)

【Q】 長時間の部活動が問題となり、スポーツ庁から外部指導員の任用や週二日以上での休養日の設置、活動時間の上限指定などのガイドラインが示されたが、市内中学校の状況について伺う。

【教育長】 市内11の中学校は常設部に顧問となる教員を1名以上配置している。そのうえで専門的な技術指導を担い、顧問をサポートする外部指導者を11校全てが委嘱している。土日など休日の活動時間は平成30年4月から5月の場合、11校中3校が3時間から4時間以内の活動と回答する一方、練習試合や遠征のため6校が概ね3時間から4時間活動、2校が4時間以上とし、練習過多の状況がある。



増子 義久 議員

地方政治家のあるべき理想像は 私の考えを色濃く反映

Q 市議2期目の最後の一般質問にあたり、過去4年間の議員活動を総括し、上田市政の政策課題を検証する。その上で、将来に向けた政治家としての理念あるいは、自画像について伺う。また、総合花巻病院の移転整備事業や新花巻図書館などの大型プロジェクトが進んでいるが、市長の公約にある「新しい風」の中身や「上田色」が見えてこない。これからの上田色への期待を含め、宮沢賢治が「ドリームランド(夢の国)」と呼ぶまちづくりへの決意を伺う。

A 通常は、質問要旨に基づいて担当者がしっかり準備しているが、増子議員の質問は抽象的すぎて何を聞きたいのか分からない。要旨にない質問を急にされても、その質問に答える準備ができていない。私の考え方が市政にどう

うやうや反映されているかということであるが、私の考えは色濃く出ている。中高年や子どもたちの医療を守るために総合花巻病院の移転計画も作り市民の命、健康を守っていきたくないと取り組んでいる。私が市長になって、イーハトーブ養育センターを作り、発達相談センターの開所、清光学園へも支援をしている。

また、地方政治家としての深沢雄村長(旧沢内村)については、医療を頑張ったというところで尊敬しているところである。その気持ちを胸に抱きながら、花巻市民の医療を守るための総合花巻病院の移転について一生懸命頑張ったという事実はある。



工事が進む総合花巻病院

まちづくり基金で城跡の取得を 基金による取得の必要性が原則

Q 花巻城跡を負担が少なく市民の手に取り戻す機会が訪れた場合、「まちづくり基金」を活用して取得すべきではないか。また、取得を想定し仮称「花巻城跡公園」として整備する構想を描いておくべきではないか。

A 〔市長〕 まちづくり基金を活用して花巻城跡を取得する場合、基金であることから必要性が認められることが原則である。まちづくり基金が適当である場合には、当該基金を活用して取得することはあると考える。花巻城跡の公園整備は、教育委員会の調査結果を受け、花巻城跡調査保存検討委員会等の場で議論するとともに、市民や関係団体の意見を伺いながら、(仮称)花巻城跡保存計画を策定する中で可能性を検討する。



近村 晴男 議員
(花巻クラブ)

Q 施設の展示やまちづくりに関する専門家からなる専門委員会を立ち上げ、大迫商店街の復興策を練り、まちの顔づくり委員会等で検討させるという二段階方式で臨む考えはないか。

大迫商店街の復興を



往時のにぎわい復活が課題の大迫商店街

【そのほかの質問】 市長の答弁姿勢について

A 〔市長〕 まちづくりの専門家の意見を聞くには、市あるいは住民の側でまちづくりの課題を共通認識し、一定の方向性を持つことが重要である。実施するにあたって、専門的な観点からの助言が特に有効である。

大迫のまちづくりも、市が住民とともに考え実行しているワインとブドウを中心とした産業振興や林業の進展などを進めるため、必要な時期に専門家の助言を得ることはあり得る。

農泊推進で交流人口の拡大を 2団体と連携しながら推進

Q 農泊は、農山漁村の所得向上を實現するうえで重要な柱として国が進める施策である。また、花巻の魅力を感じていただき移住・定住へも繋げていけるものである。本市の取り組み状況を伺う。

A 〔市長〕 本市では平成29年度から国の農山漁村振興交付金を活用し、東和地域の交流まちづくり協議会と花巻農業協同組合の2団体が農泊の推進に取り組んでいる。東和地域の交流まちづくり協議会は農泊学習会や農旅コンテンツ調査のほか、昨年12月には東和農旅シンポジウムを開催し、今年3月には東和農旅推進計画を作成。本年度は特産品の開発やJRや市内の他団体と連携した東和農旅モデルツアー等を計画している。また、市では新たに地域おこし協力隊を募集中



藤井 幸介 議員

【そのほかの質問】 高齢者の交流の場の創出について

で、着任後には東和地域の交流まちづくり協議会の活動支援に携わっていた。ただ予定である。

花巻農業協同組合ではグリーンツーリズムを継続しながら、農泊に関心のある方々を対象に農山漁村での体験活動に伴うリスクマネジメント研修会や農林漁家民宿開業支援セミナー等を開催するなど、農泊の推進に努めている。農泊は、日本の伝統的な生活や地域の方々と触れ合える滞在型の旅行であり、観光のほか移住・定住にもつながる可能性も秘めており、市ではホームページなどを活用しながら本市の魅力発信し、農泊による交流人口の拡大に努めていく。



交流人口拡大を進める東和農旅のパンフレット

「終活」の取り組みは 実務者の協議の場で検討

Q 最近「終活」について、さまざまなメディアや本などで取り上げられている。人生の終わりに向けて前向きに準備し、今をより自分らしく生きるための本市の取り組みを伺う。また取り組みの一つとして生前に、もしもの時を考え、遺言書とは違って、いつでも見直すことができ、自分の思いを伝える「エンディングノート」の作成や、「リビング・ウィル」の啓発について伺う。

A 〔市長〕 「終活」における取り組みはしていないが、在宅医療と介護の連携推進の一環として、平成27年度からは在宅における療養やみとりをテーマとした講演会を開催し、本人やご家族、医療・介護関係者との話し合いの大切さについてお伝えしている。「エンディングノート」は、どう生きるかとともに、どう最期を迎えるかの人生の記録を書き続けるものである。



菅原ゆかり 議員

市は、昨年12月「あなたは人生の最期をどこで過ごしたいですか」の講演会の際、市販のエンディングノート150部を試行的に配布した。「リビング・ウィル」は「生前指示書」とも言われ、人生の最終段階で意思表示ができなくなった時に備えて、家族や医師などに「こうしてほしい」という治療の方向性や身辺の整理をしていくものである。本人が希望する人生の終末期を迎える準備として、重要であると考えてはいるが難しい課題であり、医療・介護実務者による協議の場において取り組みを検討していく。



ふれあい出前講座でも取り上げられているエンディングノート

平成29年度 花巻市議会政務活動費執行状況

花巻市議会では、「花巻市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。

政務活動費の額は、花巻市議会の場合、議員一人当たり月額2万円で、毎年4月1日に在職する議員に対して、1年度分(24万円)が一括して交付されています。

また、政務活動費の収支報告書の提出にあたっては、議会内の取り決めで、原則領収書をつけて報告することとしており、その内容についてはどなたでもご覧いただけます。

花巻市議会が条例で定めている政務活動費を充てることのできる項目については、下記のとおりです。
また、花巻市議会では、政務活動費の使途の透明性を確保するために政務活動費の執行状況を議会だより及び市ホームページに掲載しています。

- 研究研修費・・・議員が研修会等を開催する(参加する)ために必要な経費【例:講師謝金、会場使用料、旅費等】
- 調査旅費・・・議員が行う調査研究活動のために必要な経費【例:交通費、宿泊費等】
- 資料作成費・・・議員の活動のために必要な資料の作成に要する経費【例:印刷製本代、事務機器購入・リース代等】
- 資料購入費・・・必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 広報費・・・議員活動や市の政策についてPRする経費【例:議員広報誌、報告書の印刷費等】
- 広聴費・・・住民から市への要望や意見を聴取するための会議等にかかる経費【例:会場費、茶菓子代等】
- 人件費・・・議員の調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務所費・・・活動のために必要な事務所の設置・管理に要する経費【例:事務所の賃借料、維持管理費等】
- その他の経費・・・上記以外の経費で議員が行う調査研究活動に必要な経費【例:事務連絡に要する切手代、事務消耗品】

※市からの交付額は240,000円です。これを超えた執行額は自己負担です。これに満たない分は市に返還しています。(単位:円)

党派	議員名	執行額	内 訳						調査旅費を用いた視察先	
			研究 研修費	調 査 旅 費	資 料 作成費	資 料 購入費	広 報 費	広 聴 費		その 他の 経費
明和会	藤原 伸	222,533		151,120		71,413				九州アンテナショップの現状と課題について(福岡市) ・スマートエネルギーについて(みやま市) ・コミュニティスクールの取り組みについて(菊池市) ・地方創生の取り組みについて(衆議院会館) ・農業人材育成施策と新たな米政策について(農林水産省)
	高橋 勤	223,375		151,120		72,255				
	伊藤 源康	226,691		151,120		75,571				
	藤原 晶幸	279,532		151,120		128,412				
	平賀 守	34,296				34,296				
市民クラブ	中村 初彦	216,644		151,460		65,184				議会における自然災害発生時の対応について(八尾市) ・中心市街地の再生と活性化の取り組みについて(長浜市) ・議会改革の取り組みについて(可児市) ・子育て支援策について(JA愛知知多) ・地方創生の取り組みについて(衆議院会館) ・農業人材育成施策と新たな米政策について(農林水産省)
	高橋 修	278,010		199,103		78,907				
	瀬川 義光	253,204	51,610	74,283		48,391	78,920			
	内館 桂	232,660		74,283		82,791	60,528	15,058		
	大原 健	256,420		110,913		85,507	60,000			
花巻クラブ	鎌田 幸也	170,396		74,283		87,743		8,370		少子化対策事業について(南あわじ市) ・小中一貫教育の推進について(池田市) ・商店街施策について(中小企業庁) ・地域活性化と多文化共生の取り組みについて(自治行政局)
	松田 昇	291,606		111,606			180,000			
	本館 憲一	213,587		138,016		75,571				
	藤井 英子	245,994		111,606		129,248		5,140		
	近村 晴男	254,255		126,606	1,000	67,255	59,394			
平和環境 市民クラブ	高橋 浩	212,377		136,806		75,571				介護予防及び地域支援事業について(和光市) ・日本一の読書のまちの取り組みについて(三郷市) ・市立図書館の運営について(相馬市)
	照井 省三	185,687		52,715		75,024	57,948			
	若柳 良明	208,204		52,715		155,489				
会派を構成していない議員	阿部 一男	235,094	7,000	52,715		137,855		37,524		移住定住促進事業について(岩見沢市) ・観光客誘客への取り組みについて(小樽市) ・江別河川防災ステーションについて(江別市)
	菅原ゆかり	252,673	63,360	95,452		71,255		22,606		
	藤井 幸介	229,301		94,372	40,327	89,595		5,007		
	増子 義久	227,966				195,112		32,854		
	櫻井 肇	241,966	72,780			10,997	152,733	5,456		
	照井 明子	231,954	18,320	19,270		85,284	109,080			
小原 雅道	201,410		67,078		105,819		28,513			

子育て世帯住宅取得支援事業は4地域それぞれを中心地域に



櫻井 肇 議員

「子育て世帯住宅取得支援事業」の導入に至った経緯について、人口流出の現状等から市民に分かりやすい説明を求める。

【市長】大迫、石鳥谷、東和地域から花巻地域への転出超過が多く見られる。年齢層から見ると30歳代の複数人異動(子育て世帯の異動)が多い状況である。

これらのことから、子育て世帯が親世帯と同じ・近居するため、あるいは市内4地域の中心地域に住宅を新築もしくは購入することに對して、奨励金を交付することとしたものであり、4地域それぞれににぎわいを持ち、活力を維持していくことが大切と考え、それぞれの地域に子育て世帯の定住を推進することを目的に本事業を導入した。

【市長】首長は地方自治法において、教育委員会の予算を含む市全体の予算を策定し、議会の承認を得て執行する権限と責務を有している。市の財政状況を勘案し、教育委員会の予算の策定と執行を行うことと合わせ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により定められたその他の権限について、その責務を確実に果たしていく、教育の政治的中立性の確保という観点からも、予算の認める範囲において、教育委員会の主体性を尊重すべきと考える。

【そのほかの質問】森林経営管理法について

【市長】首長は地方自治法において、教育委員会の予算を含む市全体の予算を策定し、議会の承認を得て執行する権限と責務を有している。市の財政状況を勘案し、教育委員会の予算の策定と執行を行うことと合わせ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により定められたその他の権限について、その責務を確実に果たしていく、教育の政治的中立性の確保という観点からも、予算の認める範囲において、教育委員会の主体性を尊重すべきと考える。

教育行政への介入は



石鳥谷総合支所内に設置されている花巻市教育委員会事務局

【市長】首長は地方自治法において、教育委員会の予算を含む市全体の予算を策定し、議会の承認を得て執行する権限と責務を有している。市の財政状況を勘案し、教育委員会の予算の策定と執行を行うことと合わせ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により定められたその他の権限について、その責務を確実に果たしていく、教育の政治的中立性の確保という観点からも、予算の認める範囲において、教育委員会の主体性を尊重すべきと考える。

市政「い」が聞きたる
一般質問

新花巻図書館について 多方面から専門的な意見を伺う



照井 明子 議員

【市長】開設準備室設置について、現段階では時期的な問題もあるかもしれないが、専門部署の設置は考えていない。現在進めている基本計画策定後、基本設計など設計へ向けての具体的な事務が本格化する段階において、専任の職員を配置した建設準備室などの設置について検討していく。

【市長】階段部のバリアフリー化については、エレベーターあるいは車いす対応のエスカレーターあるいは車いす対応の構造上設置することは極めて困難である。設置するために必要となる階段部分の改修工事や電気設備工事等、現施設の抜本的な改修を行い、その上でいづれかを設置するためには相当多額の負担で直ちに対応するのは困難であると考える。

【市長】開設準備室設置について、現段階では時期的な問題もあるかもしれないが、専門部署の設置は考えていない。現在進めている基本計画策定後、基本設計など設計へ向けての具体的な事務が本格化する段階において、専任の職員を配置した建設準備室などの設置について検討していく。

【市長】階段部のバリアフリー化については、エレベーターあるいは車いす対応のエスカレーターあるいは車いす対応の構造上設置することは極めて困難である。設置するために必要となる階段部分の改修工事や電気設備工事等、現施設の抜本的な改修を行い、その上でいづれかを設置するためには相当多額の負担で直ちに対応するのは困難であると考える。

連絡通路の改善は



バリアフリー化を望む声がある連絡通路

【市長】階段部のバリアフリー化については、エレベーターあるいは車いす対応のエスカレーターあるいは車いす対応の構造上設置することは極めて困難である。設置するために必要となる階段部分の改修工事や電気設備工事等、現施設の抜本的な改修を行い、その上でいづれかを設置するためには相当多額の負担で直ちに対応するのは困難であると考える。

【そのほかの質問】子ども子育て支援について、子育て世帯の住宅支援について



たかはし くみ
高橋 久美さん
(石鳥谷町新堀)



ふじわら まさとし
藤原 雅俊さん
(桜木町)

風を呼び込む街

「若い人たちが少なくて」という声はよく聞くが、今後を担う年代が何人いるかはもう市町村の財政、すなわち、住む者の生活に直結してくる。その危機感はどこくらい浸透しているだろうか。誰かがどうにかしてくれるだろう、ではもう間に合わない。昔はよかった、の次は、じゃあ今の問題はどうか取り組むかと続けなければ何も変わらない。若者にこうあるべき論を言うよ

りも、どんな街なら、そこに住んで暮らしたいと思うかもっと個々のレベルで耳を傾ける意識の底上げが重要だ。実際、人口が増えている市町村の特徴は、地域内外で活躍している人や違う価値観に対して食欲に学ぶとする住民の活動が見える。セミナーや講演会を小さな単位でも企画、参加してイーハトーブの街は風通しが良いと感じる土壌が必要であると考える。

地域全体での子育て協力へ

子育てする中でそれぞれの家族形態の多様化もあり、親同士の関係性が希薄になってきている中、遊びに行った先の連絡先もわからずにお互い気を使ってしまうことがあります。そんな中でも安心して子どもたちが集まって遊べる環境を整備していただけたらなと感じます。子どもたちだけで気軽に遊ばせていても、心配しなくて大丈夫な環境があれば、忙しい現

代の子育て世代にとって負担の軽減に繋がりが気持ちにゆとりが生まれると思います。例えば登校時のパトロールボランティアの方々のような地域全体での見守りを休日の公園に活用することで子育て世代と地域住民の交流へ発展も期待できます。子育ての大変さを地域の皆で分け合うことで風通しの良い地域社会の形成をお願いしたいと思います。

議会傍聴にぜひお越しを！

【6月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 54人

【9月定例会】

決定次第、ホームページでお知らせします。

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 ☎24-2111 (内線310)

議会中継もスマホ・PC で視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンでも視聴ができます。

また、えふえむ花巻 では後日、録音した本会議の音声を放送しています。

編集後記

現在の広報広聴特別委員会による「はなまき市議会だより・花の風」の編集作業も今号が最後となりました。これまで、市民の皆様が手に取りやすく分かりやすいようにと考え、先進地視察や研修会での成果をレイアウトや特集記事などに生かしてきましたし、政務活動費の執行状況を掲載するなどにも取り組みました。今期は議会報告会もこの委員会が主催し「開かれた議会」に向けた議会改革の役割も担ってきたと思っています。今後も新たな委員で作る新しい「花の風」にご期待ください。

(瀬川義光)

「広報広聴特別委員会」

- 委員長 高橋 勤
- 副委員長 阿部 一男
- 委員 菅原 ゆかり
- 委員 高橋 修
- 委員 瀬川 義光
- 委員 藤原 伸
- 委員 藤井 英子
- 委員 櫻井 肇
- 委員 近村 晴男



古紙を配合した再生紙を使用しています

◎ 発行／花巻市議会 発行責任者／花巻市議会議長 小原 雅道
◎ 編集／広報広聴特別委員会

〒025-8601 岩手県花巻市花巻町9番30号 TEL 0198 (24) 2111 FAX 0198 (23) 2101
http://www.city.hanamaki.iwate.jp/
E-mail: gikai@city.hanamaki.iwate.jp